

令和3年12月実施

事業所名 和こう

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない 無回答	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	94.1%	5.9%	0.0%	0.0%	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	94.1%	5.9%	0.0%	0.0%	・他児に引っ掛かれることがたまにあり、職員の配置が適切なのかわからない時がある
	3 本人にわかりやすい構造化された環境(a)になっているか。また、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	94.1%	5.9%	0.0%	0.0%	
	4 清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の意活動に合わせた空間となっているか	97.1%	2.9%	0.0%	0.0%	
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が分析され、児童発達支援計画（以下、「支援計画」）(b)が作成されているか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	6 支援計画には児童発達支援ガイドラインに基づき、「発達支援」「家族支援」「地域支援」と必要な支援が選択され、具体的な支援内容が設定されているか	94.1%	5.9%	0.0%	0.0%	・「家族支援」の項目が具体的に何が該当するのかよくわからない
	7 支援計画に沿った支援が行われているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	8 活動プログラム(c)が固定化しないよう工夫されているか	97.1%	2.9%	0.0%	0.0%	・日々の活動内容が連絡帳だけでは全て把握することができないため、判断が難しい ・活動内容がある程度固定されている方が落ち着く児もいるのではないかと感じる
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	44.1%	44.2%	14.7%	0.0%	・感染症拡大予防のため、交流する機会が設けられないことは仕方ないと思う ・まだあまり和こうを利用していないため、よくわからない
保護者への説明等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	97.1%	2.9%	0.0%	0.0%	・入園時に丁寧な説明を受けた
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	97.1%	0.0%	2.9%	0.0%	
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）(d)が行われているか	55.9%	41.2%	0.0%	2.9%	・ペアレントトレーニングがこういったプログラムなのか具体的によく分からない ・子どもとの関わり方や保護者自身の心の在り方などの保護者支援が必要な方は多いと思う ・電話や連絡帳を通じて、子どもの家庭での困り事を相談しているが、それがペアレントトレーニングに該当しているかどうか分からない ・まだあまり和こうを利用していないため、よくわからない
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	97.1%	2.9%	0.0%	0.0%	・身体計測の結果のお知らせがあると嬉しい
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催により保護者同士の連携が支援されているか	91.2%	8.8%	0.0%	0.0%	・保護者会活動のおかげで、保護者同士の親睦が深まり、仲間がいる安心感があつた。今後も続けていくと良いと思う ・参加したいが平日仕事のため、参加が難しい。土日開催の機会があれば参加したい

	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	97.1%	2.9%	0.0%	0.0%	・連絡帳に子どもの様子が詳しく記載してあり、写真も貼ってあるため、子どもが和こうで何をしてきたか、どう過ごしていたかわかりやすい
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	94.1%	2.9%	0.0%	2.9%	
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	97.1%	0.0%	0.0%	2.9%	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	88.2%	8.8%	0.0%	2.9%	・災害時を想定した保護者への引き渡し訓練があると、万が一の時に安心できると思う
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	91.2%	5.9%	0.0%	2.9%	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	94.1%	2.9%	0.0%	2.9%	・和こうを利用し始めてから、子どもが自発的に靴を履き玄関で待ち、通所を楽しみにする姿が見られるようになった ・いつも楽しみにしていると思う ・療育参加で様子を見た時に、沢山の笑顔が見られた ・とても楽しみにしている
	23	事業所の支援に満足しているか	94.1%	2.9%	0.0%	2.9%	・いつも手厚い支援に感謝している ・子どもが話すことが苦手なので、和こうでの様子がわからないことが多かったが、連絡帳を見ると何をしていたか手に取るように内容が分かり、安心している ・丁寧な指導に感謝しかない ・満足している ・併用している幼稚園や家庭でのこと等、いろいろと支援を受けており、満足している

アンケート配布人数40人 回収人数34人 回収率 85.0%

- (a) 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。
- (b) 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。
- (c) 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
- (d) 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。